

暖冬で野菜の生育が順調 食べ方レシピ公開

前号では暖冬の影響で東北地方に雪がない記事をお届けした。しかし、東京では桜が満開であった3月29日には広い地域で降雪に見舞われてしまった。この影響を受けて関東や愛知の露地野菜産地では収穫作業が遅延し、都内のスーパーでは3月末時点でキャベツ一玉400円、ハクサイ2分の1カットが480円と急騰し一部の店舗では品薄や欠品となった。今回の降雪は幸いも直ぐに溶けて葉菜類の価格は落ち着きを取り戻しつつあるが、4月中の1ヶ月予報では4月18日までの関東以西の地域では平年よりも平均気温がやや低め、18日からゴールデンウィーク直前まではやや気温が高いとの予報が出ている。東北はまだ降雪があるようだが、関東以西は春野菜の定植が順調に進むと予測されることから予報にない長期の天候不順がない限りは野菜の小売価格に大きく影響はないものと考えられる。

一方、今期の暖冬の影響で主に葉根菜類の露地野菜の生育が全国で概ね順調な生育を示したことにより例年よりも野菜の価格が安定している状況にある。弊社東京支店スタッフが新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛要請が叫ばれる前の2月上旬に、関東の冬場のダイコン産地である三浦半島に特約店のスタッフと共に資材の販売推進で訪問した時の話だ。ちょうどその頃は三浦半島産の葉根類は暖冬の影響により生育が良かったため豊作となり、価格が下落し生産者は豊作貧乏状態となり生産者の資材購買意欲はかなり冷え込んでいたという。野菜産地に資材の販売推進で訪問した際に、訪問した地場の野菜が不幸にも安値となっている時に遭遇する話で、だいたい心が折れて帰って来る。

さて、野菜産地では安定的な生産と供給に努めているものの、今期の暖冬が影響したように出荷数量や価格が不安定になることがある。農水省は、野菜の生育見通しを月1回程度HPにて情報発信しており、4月3日更新時点ではダイコン・キャベツ・ネギ・じゃがいも・たまねぎがお手頃価格であるとなっており、野菜消費促進のために「野菜を食べようプロジェクト」と題してCOOK PADに野菜の食べ方レシピを公開している。今週のおすすめレシピはダイコンとなっており、「けんちょう」「なめしご飯」「根菜汁」が公開されている。「けんちょう」は山口県で親しまれている郷土料理である。野菜の1日当たりの摂取量は平均280グラム程度であり、摂取目標量(350グラム)を大きく下回っている状況という。野菜はビタミンやミネラル、食物繊維、機能性成分が豊富に含まれており、元気に過ごすためには欠かせない食材とのこと。

政府が不要不急の外出は控える様国民に呼びかけている環境下では、買い物の頻度を減らし、冷凍保存や日持ちする食材に手が伸びがちになる。家族で食事を囲む機会も増える中、野菜は家庭の消費が底支えする動きとなっており、外食産業での野菜消費が落ち込むなかまずは我が家でも野菜の消費拡大に寄与出来るよう、読者のみなさまも進んで1品多く野菜を使ったレシピをこしらえてみては如何でしょうか。また、くれぐれもこの在宅勤務となっている単身赴任等や独身の読者の方々、食事が偏りがちになると思いますので酒に入り浸らない様、意識を持って野菜を積極的に摂りましょう！

《けんちょうの作り方》2～3人前

大根 1/4本、豆腐 1丁、にんじん 1/2本

醤油 大さじ3、砂糖 大さじ3、みりん 大さじ1-2、酒 大さじ1

- 【1】大根は皮をむいて銀杏切り。人参は細切りにする。豆腐は水気を切っておく。
- 【2】フライパンに油をひいて、大根と人参を炒める、しんなりしてきたら調味料を全て入れ、からめたら、豆腐を手で碎きながら入れる。
- 【3】しっかり大根に味がしみて、水分がなくなるくらいまで煮る（水分は少し残っていてOK）。全体に味がしみたらできあがり。



新型コロナウイルス 関西・大阪の現況報告

弊社は2月28日から新型コロナウイルスへの対策として、時差出勤、在宅勤務等の対応をさせて頂いております。取引先の皆様にご理解を頂いております事に御礼申し上げます。大阪は新型コロナウイルス発生により市内の様子が変容しました。報道でご存知の方もいらっしゃると思いますが、肌で感じていることをお伝え致します。

令和2年年明けの1月29日に、1月12日から1月17日にかけて中国湖北省武漢市からの団体旅行者を乗せたツアーバスにガイドとして添乗した大阪府在住の40代女性が大阪府内で初めての新型コロナウイルス感染症患者と確認されました。恐らくこれが大阪で陽性と判明した最初ではないかと思えます。また、2月16・19・23日にはライブハウスに訪れた関係者並びに観客計十数名の感染が確認されました。いわゆるクラスター(集団感染)が発生した事例の一つとなりました。

3月19日には、大阪府知事が春分の日からの3連休中、大阪府と兵庫県の間の往来を自粛するよう求め、その後も継続しております。ここ数年は、インバウンドの旅行者を中心に市内の繁華街は混雑しており、街中どこでも旅行者を見かけるのは当たり前前の光景でしたが、各国の外出規制や日本の入国制限措置により、旅行者を殆ど見かけなくなり国内でも外出自粛の影響により街は閑散としております。

農業関連では、神戸ビーフの価格が2月前年同月対比16%安で採算割れが必至の様で、3月に入り和牛の相場が過去5年間で最安値になり、肥育農家が苦境に立たされていると聞きます。また、中韓からの入国規制により実習生確保が危惧され、インバウンド減・宴会自粛により高級果物が苦戦しているとの声もあります。

更に、学校給食停止の影響で牛乳を始め野菜等に出ており、各産地は痛手となっているとの報道もあります。一方、コメは一部のスーパーで買いだめ需要により品薄になったとの話もありましたが、各スーパーを調査してみると、品揃えは従来通りで品薄感を感じられませんでしたが、業務用米は、弁当等の中食需要は増えていると聞きますが、外食需要は減っており厳しい状況となっています。肥料関連では、西日本メーカーの動向は例年と大きく変わっているところはなく、落ち着いた状況です。都市部以外では、新型コロナウイルスの感染は比較的少なく、農家の春先の作業は通年通り行われているものと推測されます。

新型コロナウイルス感染の終息が見えない中で、影響が更に悪化することがないように祈るばかりであり、一人ひとりが注意喚起し、これ以上拡大させないことを望みます。大阪の街が再び活気に溢れ賑やかさを取り戻すべく、一日でも早い終息を願わずにはられません。(大阪支店)



乗客が少ない新大阪駅



ひと気のない梅田界限

《緊急事態宣言発令による、弊社の対応について》

4月7日、政府は緊急事態宣言を東京・大阪・福岡等7都道府県を対象に発令しました。弊社では、当面の間は在宅勤務体制を原則としており、各部門・支店の対応につきましては、個別にご案内いたしておりますが、FAX・電話等の対応が難しい場合がございます事を予めご了承賜りたく、またご理解とご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

編集事務局：南部、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>